

## 利用促進に関する検討案について

## 1. 利用促進や利便性向上に向けた取組の洗出し

はなバスについては、運行補助金の増加に伴い、運行経費の削減に取り組むだけでなく、今後も持続可能なコミュニティバスの運行を行うために、利用者の拡大を併せて図っていく必要がある。

そこで、地域住民の利用を促すための新たな手法や、利用者の利便性向上に向けた施策を検討する必要がある。

● 利用の促進に向けた取組	
全ルート共通 の取組	<input type="checkbox"/> 運転免許証の自主返納による割引 <input type="checkbox"/> 公共交通利用マップの作成 (はなバスと民間路線バスの情報を合わせて提供)
● 利便性の向上に向けた取組	
課題区間沿線を 対象とした取組	<input type="checkbox"/> 健康福祉部や子育て支援部などとタイアップし、ルート沿線でのイベント等での周知 <input type="checkbox"/> 沿線の魅力発信マップ等の作成 <input type="checkbox"/> 新規バス停設置に向けた検討 <input type="checkbox"/> バス停に、はなバスの現状を伝える情報を掲示 <input type="checkbox"/> はなバスの運賃及びルートを見直す際の基準における評価指標における公共交通空白地域・不便地域を対象としたアンケート調査の実施 <input type="checkbox"/> 地域主体のはなバスを応援する仕組みづくりの検討

## 2. 今後の検討及び実施の流れ

R2年度～

R3年度～

- 利用の促進に向けた取組の検討 ⇒ 全ルート共通の取組の実施
- 利便性の向上に向けた取組の検討 ⇒ 課題区間沿線を対象とした取組の実施

※実施できるものは R2 年度から実施